

平成 28 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：平成 28 年 5 月 13 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室

仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 1-1

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(2) 報告

- ①平成 27 年度活動報告
- ②平成 27 年度会計報告
- ③監査報告
- ④平成 28 年度活動計画（案）
- ⑤平成 28 年度会計予算（案）
- ⑥その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2 h 予定

タイトル：三陸の地質資源とジオパーク

～被災資料の救済と地質資源の活用～

講師：永広昌之氏（東北大学名誉教授、
東北大学総合学術博物館協力研究員）

3. 意見交換会 17 時 30 分～19 時 30 分

場所：さなぶり

仙台市青葉区上杉 1-2-16 県庁北側 JA ビル宮城地下(022-264-8710)

会費：5,000 円

1. 平成 27 年度活動報告

①年次大会 参加者：20 名

日時：平成 27 年 5 月 22 日(金) 14 時～15 時

場所：(株)ユアテック 3 階 A 会議室

特別講演：15 時～17 時 参加者 41 名

タイトル：「御嶽山・岩手山の噴火対応の事例に基づく蔵王火山の防災
対応」

講師：齋藤 徳美氏 (岩手大学名誉教授)

岩手大学地域連携推進機構 客員教授)

意見交換会 参加者 17 名

時間：17 時 10 分～19 時 10 分

会場：ユーカラ

会費 4,000 円

②平成 27 年度現地見学会：参加者 15 名

テーマ：「相馬市～南相馬市の津波災害等復興状況視察」
～福島第一原発 20km 圏内ツアー～

日時：平成 27 年 7 月 17 日 (金)

場所：福島県南相馬市

案内：村松氏 (NPO法人 野馬土)

会費：会員・非会員 5,000円 (交通費)

③平成 27 年度研修会；参加者 40 名、意見交換会 14 名

テーマ：「福島第一原発事故による市街地汚染と除染の現状
～一市民による計測と考察～」

日時：平成 27 年 9 月 11 日 (金) 14 時 30 分～16 時 30 分

場所：メディアテーク 7F スタジオシアター

講師：田野 久貴氏

(元日本大学工学部教授・トルコ国立バムッカレ大学名誉教授)

参加費：1,000 円 (会員、非会員とも)

意見交換会：5,000 円

会場：さなぶり

④役員会 平成 27 年 4 月 3 日(金)、5 月 22 日 (金)、**6 月 12 日 (金)**、7 月 3 日 (金)、**8 月 21 日(金)**、9 月 11 日 (金)、**10 月 9 日 (金)**、 **12 月 11 日 (金)**、2 月 19 日 (金) (計 9 回)

(太字は技術サロン開催日)

- ⑤ 技術サロン：4回開催（金曜日夕方開催）
- 第一回 平成27年6月12日（金）18：00-20：30 参加者：10名
- ・「石巻市の割れ目性硬質岩盤斜面の崩壊事例—斜面状況からみる避難勧告の判断とは—」 中里俊行氏
 - ・「最近ベトナム事情～ハノイ～ハロン湾の旅～」 今野隆彦氏
- 第二回 平成27年8月21日（金）18：00～21：00 参加者：12名
- ・「土壌汚染調査実施例の紹介～①広瀬川沿い、②稼働中の工場敷地他～」 森 信博氏
 - ・「南部北上高地中生界の岩盤分類について」 菊池 真氏
- 第三回 平成27年10月9日（金） 18：00～20：30 参加者：10名
- ・「旧北上川堤防の築造とかわまちづくり」 中里 俊行 氏
 - ・「知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて
～科学・技術の地産地消～」
大草 芳江 氏（NPO Natural science）
- 第四回 平成27年12月11日（金）18：00～20：30 参加者：15名
- ・「国道289号 甲子トンネルと甲子道路」 尾崎 裕司氏
 - ・「森林環境と防災」 守屋 資郎氏

2. 平成27年度会計報告

応用理学部会 平成27年度 会計決算(案)

	決 算	H27年度予算	対 比
総収入	388,718	289,715	99,003
総支出	330,240	235,000	95,240
繰越金	58,478	44,715	13,763

【収入の部】

科 目	決 算	H27年度予算	対 比	摘 要	
H26年度繰越金	44,715	44,715	0		
本部交付金	100,000	100,000	0		
小 計	144,715	144,715	0		
事業収入	年次大会	0	0	0	
	見 学 会	93,000	75,000	18,000	南相馬市、参加者15名
	技 術 サ ロ ン	46,000	40,000	6,000	4回開催、会費1,000円
	研 修 会	105,000	30,000	75,000	参加費 40名、懇親会14名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	3	0	3	銀行利息
小 計	244,003	145,000	99,003		
総収入	388,718	289,715	99,003		

【支出の部】

科 目	決 算	H27年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	43,672	44,000	△ 328	往復ハガキ、講演謝礼
	見 学 会	102,380	60,000	42,380	謝礼、バス代、弁当代、パンフレット代
	技 術 サ ロ ン	49,404	40,000	9,404	会場費、軽食代ほか
	研 修 会	127,300	52,000	75,300	謝礼、会場費、懇親会
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小 計	322,756	201,000	121,756	
管理費	会 議 費	6,368	6,000	368	役員会会場費
	通 信 費	1,116	27,000	△ 25,884	
	事 務 雑 費	0	1,000	△ 1,000	
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	7,484	34,000	△ 26,516	
総支出	330,240	235,000	95,240		

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成27年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成28年4月5日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4 . 平成 28 年度 活動計画 (案)

① 平成 28 年度 年次大会および特別講演

日時：平成 28 年 5 月 13 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室

仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 1-1

年次大会 14 時～15 時

特別講演 15 時～17 時

タイトル：三陸の地質資源とジオパーク

～被災資料の救済と地質資源の活用～

講師：永広昌之氏 (東北大学名誉教授、

東北大学総合学術博物館協力研究員)

意見交換会

時間：17 時 30 分～19 時 30 分

会場：さなぶり (022-264-8710)

会費：5,000 円

② 平成 28 年度研修会

テーマ：未定(ジオパーク関連)

日時：平成 28 年 7 月 15 日 (金) 14 時～17 時

場所：せんだいメディアテーク スタジオシアター

講師：ジオパーク関係者 (栗原市職員ほか)

意見交換会：参加費 5,000 円

会場：未定

③ 平成 28 年度現地見学会

日時：平成 28 年 9 月 16 日 (金) 9:00～16:00

場所：栗駒山麓ジオパーク

案内：ジオパーク関係者 (ジオガイド、大学関係者等)

④ 役員会

平成 28 年 4 月 8 日 (金)、5 月 13 日 (金)、**6 月 17 日 (金)**、7 月 15 日 (金)、**8 月 19 日 (金)**、**10 月 14 日 (金)**、11 月 11 日 (金)、**12 月 9 日 (金)**、2 月 10 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催・・・市民センター他の公共施設

6月～12月隔月第2または第3金曜日；18：00～20：30

会費 1000 円/回

6/17, 8/19, 10/14, 12/9 開催予定

5. 平成28年度 会計予算（案）

応用理学部会 平成28年度 会計予算(案)

	H28年度予算	H27年度決算	対比
総収入	433,478	388,718	44,760
総支出	353,000	330,240	22,760
繰越金	80,478	58,478	22,000

【収入の部】

科目	H28年度予算	H27年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	H27年度繰越金	58,478	44,715	13,763	
本部交付金	本部交付金	100,000	100,000	0	
	小計	158,478	144,715	13,763	
事業収入	年次大会	75,000	0	75,000	意見交換会15名
	見学会	75,000	93,000	△ 18,000	現地最寄駅集合・解散
	技術サロン	50,000	46,000	4,000	4回開催、会費1000円
	研修会	75,000	105,000	△ 30,000	意見交換会15名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑収入	0	3	△ 3	
	小計	275,000	244,003	30,997	
総収入		433,478	388,718	44,760	

【支出の部】

科目	H28年度予算	H27年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	120,000	43,672	76,328	謝礼、案内はがきほか
	見学会	75,000	102,380	△ 27,380	ガイド料、昼食代、交通費ほか
	技術サロン	40,000	49,404	△ 9,404	4回開催、会場費ほか
	研修会	90,000	127,300	△ 37,300	会場費、意見交換会
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小計	330,000	322,756	7,244	
管理費	会議費	6,000	6,368	△ 368	役員会会場費
	通信費	16,000	1,116	14,884	HP管理費
	事務雑費	1,000	0	1,000	
	予備費	0	0	0	
	小計	23,000	7,484	15,516	
総支出		353,000	330,240	22,760	

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H28 予算) - (H27 決算) マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定
平成 17 年 6 月 10 日改正
平成 18 年 5 月 12 日改正
平成 20 年 5 月 8 日改正
平成 25 年 5 月 16 日改正
平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。
5. 定期年次大会及び臨時大会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。